

地島校区漁村留学を育てる会
実行委員長 奥 正彦

今年で20年目を迎えた地島漁村留学は、指導員の先生や地域の方々などの協力の下、4月から留学が始まりました。最初は不安でいっぱいの子ども達も地島の子ども達と一緒に勉強したり遊んだりして、地島の自然の中、毎日のびと活気ある生活を送っています。

地島の子ども達をはじめ、島の人たちも留学生との交流を毎年楽しみにしています。また、なぎさの家や学校での生活、地域行事への参加、年数回の地域の方々の家でのホームステイ等を通して、人を思いやる優しい心を持ち、挨拶の出来る子へと日々逞しく成長しています。

新型コロナウイルスの影響により、制限する活動もあるかもしれませんが、漁村留学を考えておられます御家族の皆様、親元を離れる一年間は本当に心配だと思いますが、是非お子様に地島の海、山、自然の中での漁村留学をさせてみてはいかがでしょうか。

関係者一同、心よりお待ちしております。



地島校区漁村留学制度について

漁村留学生活について

地島校区漁村留学制度は、平成15年からスタートし来年度（令和5年）で21期目を迎えます。一年間の共同生活の中で、規律を守る大切さを学び、助け合いや自立する力を身に付けます。また、自然やあたたかな島の方々とふれあうことで、思いやりや家族への感謝など豊かな心を育てます。小学校は少人数ですが、教師と生徒の距離が近く、個人の能力にあった学習指導を受けることが出来ます。家庭学習では、学校と連携して指導員もサポートしています。

なぎさの家について

留学生は、指導員の先生のもと、漁村留学センター「なぎさの家」のきまりを守りながら共同生活をします。

○モットーは「自分の事は自分で」です。自分で洗濯物を片づけ、係で風呂の用意や食器の片付けなどをします。平日は、学校がありますので、掃除・洗たく・食事の用意は寮母が行います。休日は、指導員と一緒に子どもたちが掃除などの家事をします。

○テレビは一日一時間程度です。ただし天気が悪い時や週末などは様子を見て対応しています。

○漫画・雑誌・CD・ゲーム・携帯電話などは持ち込みできません。ただし小説や図鑑、絵本などは自由に持ち込みしてかまいません。なぎさの家にもたくさんの本が置いてあります。

その他の持ち込みについてご不明な点がございましたら、お尋ねください

なぎさの家 一日の生活の流れ

平日		土日	
6:30	起床	7:30	起床
6:40	朝食	7:40	朝食
8:00	登校	8:20	掃除
		9:00	宿題
			<自由時間>
16:00	下校	12:00	昼食
	<自由時間>		<自由時間>
17:00	門限	17:00	門限
	宿題		
18:20	夕食	18:20	夕食
19:30	風呂	19:30	風呂
20:30	つどい	20:30	つどい
21:00	就寝	22:00	就寝

その他

○島内には病院がないため、病気（発熱等）や怪我等の緊急の際には、神湊ターミナルまで保護者の方に来ていただき、通院などの対応をしていただきます。

○地域の行事などには保護者の方に参加していただくこともあります。（年間行事をご覧ください。）

○長期休みの他、月1、2回程度の帰省日を設けており、帰省の際は保護者の方の送迎となります。

地島校区漁村留学を育てる会年間行事計画

月	活動内容	活動のねらい	活動場所	備考
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面式 ・ 磯遊び ・ 泊地区、白浜地区へのあいさつ ・ なぎさ看板制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島小児童との交流 ・ 地島の環境を知る ・ 地域の方との交流 ・ 仲間意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島小学校 ・ 地島 ・ 泊、白浜地区 ・ なぎさの家 	なぎさの家、地島生活、学校生活に慣れる
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島探検（海） ・ 魚釣り ・ ホームステイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島の環境を知る ・ 海に親しむ ・ 地島の方との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島 ・ 地島 ・ 地島 	地域の方の協力
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームステイ ・ くわがた捕り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島の方との交流 ・ 自然に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島 ・ 地島 	地域の方の協力
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七夕 ・ 海水浴 ○ 地島山笠 ・ 海浜清掃 ・ ホームステイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留学の思いを振り返る ・ 海に親しみ、体力向上 ・ 地域行事への参加 ・ 自然への感謝 ・ 地域の方との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぎさの家 ・ 地島 ・ 地島 ・ 地島 ・ 地島 	地域・保護者の方の協力
8	○ 小学校除草作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島小学校 	地域の方の協力
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老の日 ○ 全島大運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感謝の気持ちを表す ・ 学校行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島 ・ 地島小学校 	地域の方の協力
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームステイ ・ みあれ祭参加 ・ 宗像放生会 ・ 地引網体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方との交流 ・ 地域の祭りに参加 ・ 祭りに参加 ・ 学校行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島 ・ 大島 ・ 宗像大社 ・ 地島(海) 	地域の方の協力
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームステイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島 	地域の方の協力
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリスマス会 ・ 年賀状書き ・ なぎさの家大掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との交流 ・ 感謝の気持ちを表す ・ 感謝の気持ちを表す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぎさの家 ・ なぎさの家 ・ なぎさの家 	地域の方の協力
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ チューリップ植え ・ 島内散策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験 ・ 自然体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぎさの家 ・ 地島 	地域の方の協力
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地島文化祭 ・ 島の方へのプレゼント作り ・ なぎさの家お別れ遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化交流、地域交流 ・ 感謝の気持ちを表す ・ 思い出作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地島小学校 ・ なぎさの家 ・ 島外 	保護者の方の協力
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 椿祭り ・ なぎさの家大掃除 ・ お別れ会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交流 ・ 感謝の気持ちを表す ・ 地域の方との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊地区 ・ なぎさの家 ・ なぎさの家 	地域・保護者の方の協力

- ・ 夏休み、冬休みなどの長期休みは帰省となります。
- ・ ○の行事は、全島行事です。できる限り、保護者の方にも参加をお願いしております。
- ・ 気象状況や子供たちの様子等を見ながら計画されています。漁の関係などでも変更になることがあります。
- ・ この他、誕生日月に、誕生日会を行います。

「行ってきまーす！！」令和3年4月、留學生5名を乗せた船は、地島に向け神湊港を出港しました。この光景は、今でも昨日のここのように思い出されます。

地島漁村留学は、紹介動画を小学5年の娘に見せたことがきっかけでした。娘が留学を希望する一方、私は、娘が一年間も親元を離れて、しかも最上級生として集団生活を送ることができるのだろうか、と心配していました。

漁村留学や山村留学は他にもありますが、地島の漁村留学が素晴らしいところは、里親制度ではなく、寮制度をとっているところだと思います。指導員の先生方が交代で留學生と共に寝泊まりを行い、身の回りのお世話や学校との保護者の架け橋役を担ってくれます。また、寮母さんが炊事洗濯を担当されるほか、女房役の会長ご夫妻、温かく見守って下さる地域の方々がいらっしゃいます。

そのような環境下で子供達は、学校から帰ったあとも、鬼ごっこをして遊んだり、一輪車、けん玉、三線の練習に励むなど、一年間、充実した日々を送りました。

地島漁村留学を通して、私を感じたことを2つご紹介します。

1つ目は、子供が「主人公」になれたことです。地島小では、四季折々の沢山の学校行事が催されますが、子供達はそれぞれの行事で何らかの役割があります。特に文化祭では、1人ずつ、舞台に立って出し物をする必要がありました。当然、在校生や先生方の激励があったからこそ、成しえることができたわけですが、この経験を通して、子供達は、小気になることなく前に出る習慣が身に付いたと思います。

2つ目は、私自身が「子育てとは、いつか子どもと離れるためにしている」という認識が出来たことです。一年間、子供と離れて暮らしたことで、「親は、日々子供の巣立ちの準備をしているのだ」と考えるようになり、子供と一緒に過ごす時間を大切にするようになりました。

子供達は留学中、遊んで怪我をしたこともありましたが、多感な時期の子供達が一つ屋根の下で暮らすわけですから、当然、喧嘩等もあったようです。しかし、怪我や喧嘩から学ぶことは多かったはずで、早いうちに経験できてよかったと思っています。また、雨降って地固まる「絆」もあったと思っています。

第19期漁村留學生は、コロナ禍で様々な制約がありましたが、沢山の貴重な経験をさせていただきました。留學生のために献身的にご尽力いただいた漁村留学事業の関係者の方々、地島小の先生方、地域の方々には本当に感謝しております。

「行ってきまーす！！」令和4年3月、地島留学を終え、たくましくなった留學生5名を乗せた船は、お世話になった方々に見送られながら、泊港を出港しました。

私達は、地島を第2の故郷と想い、これからも地島とこの仲間を大切にしていきます。

地島漁村留学の思い出

第19期漁村留学生（当時6年生）

私が地島の漁村留学のことを知ったのは小学5年生の時でした。そして面接試験を受けて冬に留学が決まりました。留学が決まったときはとても嬉しかったです。

留学したばかりのころは家が恋しくなったり、前の小学校に戻りたくなったりしました。でもそういう時、同じ留学生や地島小の友達と悩みを相談しあったりしてどんどん仲良くなりました。全校生徒も当時7人だったので、昼休みは学年に関係なく一緒に遊びました。また、地島の方はみんな優しくてすぐに地島が好きになりました。わざわざ釣れたての魚を持って来て差し入れてくださったり、外で遊んでいたら声をかけてお菓子をもらったりしました。

運動会や文化祭は島ぐるみで行いました。島の方々が大勢見に来てくれて一緒に楽しみました。

また家族と離れて暮らすことで家族の温かさをひしひしと感じるようになりました。留学中たくさん辛いこともあったけど今思えば留学してよかったなあと思います。漁村留学でしか学べない色々なことを学ぶことができました。

なぎと通信

2022年
10月

地島校区漁村留学制度

平成一五年度から漁村留学制度が始まり、今年で二十年目を迎えることとなりました。漁村留学では、毎年、五〜六名の留学生を受け入れ、漁村留学センター「なぎさの家」で指導員や寮母さんと共に一年間を過ごし、集団生活を通して、子ども達の基本的な生活習慣や規律、助け合う心、自立心など今後社会に必要な人格の形成を目指しています。今までにたくさん子どもたちが漁村留学を卒業し、その多くが今でも夏休みや行事の際に島へ遊びに来る等、交流が続いています。

漁村留学第二十期生の半年

指導員 吉武萌奈美

松石 実恵

今年は、五年生二名、四年生三名の計五名（男子二名、女子三名）がなぎさの家で共同生活を送っています。この半年間、留学生たちは、慣れない場所での生活で不安も多かったと思いますが、地域の方や家族の方にたくさんの人に支えられながら、様々な体験を通し、日々逞しく成長しているように感じます。これからも互いに協力し合い、感謝の気持ちを持って人と接しながら、残りの留学生生活を大切に過ごしてもらいたいと思います。

楽しい留学生生活

夜のイカ釣り体験

七月、漁師さんの船に乗せてもらい、夜のイカ釣りへ出かけました。釣り方などを教えてもらいながら、たくさんイカを釣ることが出来、初めてのイカ釣り体験に子どもたちも大喜びでした。釣ったイカは、みんなに分けて、それぞれの家に持って帰りました。



ホームステイ

年に数回ホームステイがあり、留学生だけでなく地島の方のお家へ泊まらせてもらいます。

今年は一学期に二回お家にお邪魔しました。ホームステイ先では、お手伝いをしたり、一緒にご飯を食べたりしながら、交流を深めています。普段よりもゆつくり交流することができ、子どもたちも毎回、とても楽しみにしています。また、地域の方に、留学生のことを知ってもらうとても良い機会でもあります。



地島山笠

毎年七月十五日、地島では、伝統行事の一つである、地島山笠が行われます。今年は残念ながらコロナの関係で山笠自体は開催できませんでしたが、島の方々と一緒に飾りつけをさせていただきました。山笠のことを聞きながら、一生懸命に飾りつけをし、より地島山笠について知ることが出来たと思います。なかなかできない貴重な体験をさせていただきました。



全島大運動会

九月十七日開催だった全島大運動会ですが、今年はコロナの為、縮小しスポーツフェスティバルとして開催しました。毎年地島小学校の運動会は、島全体で行われるため、子どもから大人まで、楽しんで参加することが出来ます。小学生は一輪車やソーラン節など、この日のために一学期からたくさん練習をします。特に一輪車は、初めは乗れない子もいましたが、日々練習を重ね、本番では上手に乗ることが出来て、子ども達の成長を感じることが出来ました。

